

東京大学医学部附属病院産婦人科にて

ご出産された方へ

当研究室では分娩時のより良い助産ケアを明らかにするための研究を行っております。

【研究課題】

分娩時の食事摂取に関する研究（審査番号 2020153NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
母性看護学・助産学教室

研究責任者 春名 めぐみ（教授）

担当業務 研究計画立案・データ解析・論文執筆

調査者 田口 菜々子（大学院生）

担当業務 研究計画立案・データ収集・データ解析・論文執筆

【研究期間】

承認日～2025年3月31日

【対象となる方】

2016年1月～2019年12月の間に東京大学医学部附属病院産婦人科にてご出産された方。

【研究の意義】

分娩時の食事摂取にはメリット・デメリットがありますが、食事摂取と無痛分娩の関係は明らかになっていません。この研究により、分娩時の嘔吐に着目し、無痛分娩される方、されない方において分娩時の食事摂取と嘔吐の関係性が評価できると考えられます。

【研究の目的】

東京大学医学部附属病院にて出産された方の診療録を分析し、無痛分娩される方、されない方の分娩時に食事摂取をすることによる嘔吐への影響を評価いたします。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

2016年1月から2019年12月の間に、東京大学医学部附属病院産婦人科でご出産された方のカルテに記載された情報を用いて行う研究です。使用させていただく情報には、ご年齢、既往歴、妊娠分娩歴、今回の妊娠出産および赤ちゃんの情報等が含まれます。

氏名、生年月日、連絡先は収集いたしません。

研究を行う上で、特に研究対象者の方に新たにご負担いただくことはありません。研究対象者は約 4400 人を予定しています。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

収集した情報・データ等は、解析する前に東大病院の患者 ID、分娩年月日の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにします（このことを匿名化といいます）。匿名化した上で、パスワードロックをかけたハードディスクに保存し、当研究室において春名めぐみ（管理責任者）が東京大学医学部 5 号館 312 号室の施錠可能なロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の患者 ID 等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分およびお子さんのデータを使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先に 2020 年 12 月 31 日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベース等で公表します。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、データは削除し、紙媒体の資料は細断した後に廃棄します。

この研究に関する費用は、2020年度日本助産学会若手研究助成(研究代表者 米澤かおり)から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2020 年 11 月

【問い合わせ先】

研究責任者：春名 めぐみ(教授)

連絡担当者：田口 菜々子(大学院生)

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 & FAX : 03-5841-3396(事務室 : 10-16時)

e-mail : taguchi. utmw@gmail. com